

2026年度 駒澤大学大学院 9月 入学試験問題及び解答例

研究科・専攻 【 人文科学研究科 社会学専攻 修士課程 】
試験科目 【 専門選択試験 社会学 】

【出題意図】

社会学に関して、大学レベルで習得されるべき基礎的な学力を判定し、個別専門分野における事象について、論理的・分析的な考察・記述を行える能力を判定すること。

問1 次の a~g の中から 1 問を選択して、論述しなさい。解答用紙に選択した記号を記入すること。

- a. 近年注目を集めている「プラットフォーム経済」について、その概要と特徴について説明したうえで、具体的な事例をあげてその問題点を論述しなさい。

「解答のポイント」は以下の通り。

- ①「プラットフォーム経済」という概念について、明確な定義が記述されていること
- ②「プラットフォーム経済」の事例を的確に指摘し、その運営のあり方と特徴が明確に述べられていること。
- ③「プラットフォーム経済」のもとで働く労働者にどのような問題が発生しているかについて、明確に述べられていること。
- ④「プラットフォーム経済」に対して求められる社会的な対応について、言及されていること。

- b. 「貧困の女性化」という現象が指摘されて久しいが、女性と貧困の問題は一層深刻化している。女性の貧困の現状とその要因、メカニズムについて論述しなさい。

「解答のポイント」

- ① 「貧困の女性化」という現象について、「女性の貧困化」との相違を踏まえた上で、的確に述べられていること。
- ② 「貧困の女性化」の現状について、経済的に貧困に限定せず、また、女性の多様なライフステージ、婚姻・家族形態の観点、そしてから具体的な事例を挙げて述べられていること。
- ③ 「貧困の女性化」の要因について、②の現状を踏まえて、多角的な観点から述べられていること。
- ④ 「貧困の女性化」を招く社会的な構造についても言及されていること。

- c. 昨今のネット社会において、伝統的メディアの選挙報道のあり方が問われている。現在の報道の特徴と問題点を踏まえて、あるべき姿について論述しなさい。

「解答のポイント」は以下の通り。

- ① ネット社会の特徴について、情報の送り手と受け手の関係性の変化に着目して説明できていること。
- ② ネット社会の言論状況について、SNSの功罪を理解し、その特徴を述べていること。
- ③ 中立・客観など、従来の選挙報道に求められてきた報道の規範を指摘し、昨今の事例を盛り込みながら伝統的メディアが抱えている問題点を述べていること。
- ④ 以上の問題点を踏まえて、熟議民主主義実現に向けた伝統的メディアの役割について、ファクトチェックなどの具体的な方策を記述し、解決策を述べていること。

- d. 「再生産労働の新国際分業」とはどのような現象か。具体的な事例をあげて簡潔に論述しなさい。

2026年度 駒澤大学大学院 9月 入学試験問題及び解答例

「解答のポイント」

- ①「再生産労働」、「国際分業」、「新国際分業」について理解したうえで、記述していること。
- ②グローバル化における労働移住の傾向、特に「国際移動の女性化」についての説明があること。
- ③①、②を踏まえた的確な事例を選択できていること
- ④事例に基づき、特徴や課題を指摘できていること

e. 日本を含む各国の右傾化・保守化についてその概要を説明した上で、背景や社会的要因について考察・論述しなさい。

「解答のポイント」は以下の通り。

- ①各国の政治・社会意識の動向について理解し、的確に説明できていること。
- ②右傾化・保守化の社会的要因について論理的な考察にもとづいた記述が行われていること。
- ③一国の事例紹介にとどまらない、国際比較の観点が盛り込まれていること。
- ④グローバル化、インターネット・SNS、ポピュリズムなどの社会的背景に関する考察が展開されていること。

f. 都市部の再開発に際して生じやすい社会的課題について、その類型を示したうえで、要因と対策の方向性を考察・論述しなさい。

「解答のポイント」

- ①都市部の再開発の動向について説明できていること。
- ②再開発に際して生じやすい社会的課題について、大まかな類型化ができていること。
- ③分類ごとに、その社会的課題が生じる要因について、明晰な解説ができていること。
- ④対策の方向性について、独自の視点による考察があること。

g. 文化テイストや趣味の実践が、社会階層の再生産にいかなる働きをしているかを、理論的な用語を用いて論述しなさい。また日本の文化消費と社会階層の関係がどのような特徴をもつかについても、論述しなさい。

「解答のポイント」

- ①文化テイストや実践がいかに不平等と関連しているかを、ピエール・ブルデューの基本的な理論枠組みを理解した上で、説明できていること。
- ②社会階層の再生産メカニズムと文化の関係を、ブルデュー理論から説明できていること。
- ③文化テイストと社会階層の関係について、日本の研究成果からその特徴について説明できていること。

問2 次の1~14の社会学専門用語の中から4つ選んで、それぞれについて簡潔に説明しなさい。

解答用紙に選択した番号を記入すること。

1. 世俗内禁欲

「解答のポイント」

- ①この概念を提起した論者について、正しく答えられていること。
- ②この概念が意味する内容について、的確に記述できていること。
- ③この概念を用いた理論的考察について、言及があること。

2. フランクフルト学派

「解答のポイント」

- ①この語句が意味する内容について、正しい理解があること。
- ②この語句が意味する内容について、その歴史的・社会的・学問的背景が理解できていること。

2026年度 駒澤大学大学院 9月 入学試験問題及び解答例

③この語句に関連した代表的論者について、言及されていること。

3. ライフコース・アプローチ

「解答のポイント」

- ① このアプローチの提唱者とその視点について、正しく説明できていること
- ② このアプローチの特徴について理解し、的確に記述できていること。
- ③ 社会変動という観点からコーホート概念にも触れて説明されていること。

4. 紛争（葛藤）理論

「解答のポイント」

- ① この理論の内容について正しく説明できていること
- ② この理論が提唱された社会的・学問的背景を理解し、社会学の理論におけるこの理論の位置づけについて正しく理解できていること
- ③ この理論の代表的な提唱者の観点の相違についても言及されていること

5. 能動的オーディエンス論

「解答のポイント」

- ①メディア研究における効果・影響論の系譜を踏まえ、本理論の位置づけを指摘できていること。
- ②「能動的」が意味する内容についての的確に指摘できていること。
- ③エンコーディング・デコーディング理論を踏まえて、受け手の解釈の類型化に言及していること。

6. ゲートキーパー理論

「解答のポイント」

- ①ゲートとは、ニュースの生産過程の各段階であり、その局面での情報選択を行う人がゲートキーパーであることを理解していること。
- ②ゲートキーパーがニュースバリューに従って情報の取捨選択を行っていることを指摘できていること。
- ③メディア組織内の人間関係や社会的な影響力など、ニューステキスト生産に様々な力が働いていることを指摘できていること。

7. トランスナショナル・コミュニティ

「解答のポイント」

- ①トランスナショナルリティという概念について理解できていること。
- ②人の国際移動に関する理解を踏まえて説明できていること。
- ③トランスナショナル・コミュニティの特徴について簡潔に説明できていること。

8. 遠距離ナショナリズム

「解答のポイント」

- ①ナショナリズムについて理解できていること。
- ②国境を超えた人の国際移動への理解を踏まえて説明できていること。
- ③遠距離ナショナリズムについて、その特徴を的確に説明できていること。

9. 新都市社会学

- ①「新都市社会学」という言葉の意味について理解していること。
- ②新都市社会学の問題意識、および登場の時代背景について説明できていること。

2026年度 駒澤大学大学院 9月 入学試験問題及び解答例

③具体的な研究者、関連する概念について言及していること。

10. インターセクショナリティ

- ①概念の定義や提唱者について正しく説明できていること。
- ②登場の時代背景について理解し、説明できていること。
- ③社会的な広がりや社会的意義について言及していること。

11. ソーシャル・エコシステム

「解答のポイント」

- ①ソーシャル・エコシステム概念の意味が明確に述べられていること。
- ②この概念が提起されたソーシャル・イノベーションの背景と思潮について触れていること。
- ③関連性の高い概念（例えば社会起業家など）についての言及があること。

12. インターメディアリー

「解答のポイント」

- ①インターメディアリー概念の意味を明確に説明できていること。
- ②この概念が提起された市民社会における中間支援領域の背景について述べられていること。
- ③関連性の高い概念（例えば中間支援組織など）についての言及があること。

13. ロジスティック回帰分析

「解答のポイント」

- ①従属変数の特徴を説明できていること。
- ②モデルの計算前提が線型回帰でないことを理解して説明できていること。
- ③係数の解釈の仕方について基礎知識を提示できていること。
- ④モデルの適合度の評価法について言及していること。

14. 再帰性 (reflexivity)

「解答のポイント」

- ①社会変動のいかなる問題が、この用語と関連しているかを理解して説明できていること。
- ②再帰性がどこに適用され、どのような影響をもっているかを説明できること。
- ③誰の議論として説明しているかを明確化していること。
- ④事例を挙げて説明できていること。

2026年度 駒澤大学大学院 9月 入学試験問題及び解答例

研究科・専攻 【 人文科学研究科 社会学専攻 修士課程 】
試験科目 【 専門選択試験 社会福祉学 】

【出題意図】

社会福祉学に関して、大学レベルで習得されるべき基礎的な学力を判定し、個別専門分野における事象について、論理的・分析的な考察・記述を行える能力を判定すること。

問1 次の a~f の中から 1 問を選択して、論述しなさい。解答用紙に選択した記号を記入すること。

a 幼保一元化とは何か、またそのメリットとデメリットについて論述しなさい。

- ① 幼保一元化の考え方や目的が示されていること
 - ・ 幼保一元化の背景にある社会問題のアウトラインが説明されていること
 - ・ 制度面での説明がなされていること
- ② 幼保一元化のメリット、デメリットについて制度の運用、子ども、保護者、行政、社会などの観点から説明されていること

b ICT（情報通信技術）を活用した高齢者の社会的孤立防止の可能性について論述しなさい。

1 社会的孤立の定義・背景について記述できていること

- ・ 社会的孤立：社会的なつながり・交流の欠如（主観的な孤独=loneliness とは区別）
- ・ 高齢者で孤立が起きやすい要因：独居、配偶者との死別、退職、移動手段の喪失、疾病・障害、地域関係の希薄化、災害・感染症等
- ・ 孤立がもたらす影響：心身の健康悪化、抑うつ・認知機能低下、フレイル、受診控え、虐待・詐欺被害リスク、緊急時の発見遅れ等

2 ICT 活用が何を補えるかについて記述できていること

- ・ つながりの代替・拡張：電話・ビデオ通話、SNS、メッセージ、オンライン趣味サークル
- ・ 見守り・早期発見：センサー、通電/通信ログ、服薬・食事・活動の変化検知、安否確認
- ・ 参加機会の創出：オンライン講座、地域イベント情報配信、参加申込の簡便化、移動困難を補う
- ・ 支援アクセスの改善：相談（チャット/遠隔面談）、行政手続き、医療・介護連携（オンライン受診・連絡）

3 「注意点」について具体的に記述されていること

- ・ デジタルデバイド：端末費用、通信費、操作困難、視聴覚低下、認知症、学習機会不足
- ・ 孤立の「見えにくさ」：オンライン接点があっても深い関係にならない／形式的接触に留まる
- ・ プライバシー・同意：見守りの侵襲性、本人同意、データ管理、家族・支援者の閲覧範囲
- ・ 詐欺・誤情報：フィッシング、SNS 詐欺、なりすまし、誤情報拡散
- ・ 支援の置き換え問題：ICT 導入が“対面支援の削減”になって逆効果になる可能性
- ・ リスク対策：詐欺教育、認証強化、相談窓口、個人情報保護、同意プロセス

4 「可能性」について具体的に記述できていること

- ・ ICT は目的ではなく手段：「つながりを作る」「支援につなぐ」設計が必要
- ・ ハイブリッド型（オンライン+対面）が基本：通いの場・訪問・電話と組み合わせる
- ・ 利用支援の仕組み：初期設定、伴走（デジタル支援員・学生/ボランティア）、訪問教室、ヘルプデスク
- ・ ユニバーサルデザイン：大きい文字、単純 UI、音声操作、ワンタッチ通話、誤操作耐性
- ・ 地域資源の統合：包括をハブに、社協・自治体・医療介護・民間をつなぐ運用
- ・ リスク対策：詐欺教育、認証強化、相談窓口、個人情報保護、同意プロセス

c 糖尿病の現状・特徴と医学上の動向、及び医療と生活・住環境上の配慮事項について論述しなさい。（長尾）

（採点のポイント）

- ① 医療福祉支援上で必要な糖尿病の分類や原因、症状、治療方法などの概要が示されていること
 - ・ 糖尿病の 1 型と 2 型の違いについて触れられているか？
 - ・ 1 型と 2 型のそれぞれの原因及び症状、治療方法について触れられているか？
- ② 糖尿病の医学上の動向の概要が示されていること
 - ・ 糖尿病患者の人数などの動向に触れられているか？

2026年度 駒澤大学大学院 9月 入学試験問題及び解答例

・糖尿病の3大合併症とその動向について触れられているか？

③糖尿病患者の生活上の不便・不自由と、それに対する福祉的支援や住環境上の配慮などの概要が示されていること

・糖尿病患者の生活上の不便・不自由について具体的に触れられているか？

・糖尿病患者への福祉的支援や住環境上において必要な配慮事項に具体的に触れられているか？

d 他職種チームの3類型について、チームの具体例を挙げてそれぞれの特徴について論述しなさい。

【採点のポイント】

①他職種チームの3類型を挙げられていること

②3類型の具体例を挙げられていること

③それぞれのチームの特徴を説明していること

①類型	マルチディシプリナリー・モデル	インターディシプリナリー・モデル	トランスディシプリナリー・モデル
②具体例	精神科救急や急性期状況にある患者へのアプローチ	地域移行支援会議や医療保護入院者退院支援委員会などのケア会議全般	精神科デイケアや精神科訪問看護、ACT（包括型地域生活支援）
③特徴	構成員が自分の役割に限定し、それぞれが独立した業務を行うため、連携や協働の機能弱い。階層性が生じやすい。	構成員間の階層性がなく、相互作用が高い。各職種が自身の役割を果たしながら、協働・連携してチームの中で果たすべき役割を担う。	構成員間の階層性がなく、相互作用がある。職種間の役割を解放し、各メンバーが患者・利用者に応じて必要なかわりを行う。

e 介護人材確保をめぐる「在留資格「介護」制度」、「技能実習制度」、「在留資格「特定技能」制度」の概要を論述しなさい。

【採点のポイント】

「在留資格「介護」制度」、「技能実習制度」、「在留資格「特定技能」制度」のそれぞれの違いと概要を説明できていること

(模範解答)

介護需要の拡大に伴い、介護人材確保が喫緊の課題となっている。国は国内人材を確保していくことを基本としつつも、外国人介護人材の受け入れに向けて、①EPA（経済連携協定）による特例的な受入、②専門的・技術的分野で外国人人材を受け入れる在留資格「介護」の付与、③日本から相手国への技能移転のための技能実習、④就労目的の即戦力人材を受け入れるための特定技能の在留資格の付与を進めている。

①EPA（経済連携協定）による特例的な受入は、2008(平成20)年から始められ、外国人介護福祉士候補者を受け入れようとするものである。3年間の実務経験を経て国家試験受験を受験し合格すればさらに継続的な就労が認められるものである。2023年現在インドネシア・フィリピン・ベトナムの3か国から3248人（うち合格者は618人）の候補者が在留している。

②専門的・技術的分野で外国人人材を受け入れる在留資格「介護」の付与は、2016（H28）年の出入国管理及び難民認定法の一部改正により、2017年度より創設された仕組みである。対象者は外国人留学生として介護福祉士養成施設を卒業し、介護福祉士の資格を取得した者とされるが、2020（R2）年の「新しい政策パッケージ」に基づき技能実習生として入国し、実務経験等を経て介護福祉士国家試験に合格した者（実務経験ルート）も在留資格が認められている。2023年現在8093人の在留者がいる。

③技能実習制度による受入は、2016（H28）年に制定された外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律に、2017年技能実習制度の中に介護職が加えられた。この制度は我が国の介護人材確保というよりも途上国等への技術技能移転を目的とした実習・研修的受入を目的とするものである。2023年現在この制度に基づく在留者数は14751人となっている。

④就労目的の即戦力人材を受け入れるための特定技能の在留資格の付与は、一定の専門性・技能を有し即戦力として日本で活躍できる人材を積極的系に受け入れようとするもので、2018（H30）年の出入国管理及び難民認定法の一部改正により、翌2019年から建設・介護・食品製造・外食・清掃・造船船舶・宿泊・漁業・農業など14の業種で受入しているものである。同法に基づき「介護分野における特定技能の在留資格に係る制度の運用に関する方針」が策定され、技能試験が行われている。政府は介護分野における2024～2028年度の入見込み集を135,000人としています。（1000字）

f 精神保健福祉士法の一部改正（令和6年4月1日施行）により改正された定義の背景について論述しなさい。

2026年度 駒澤大学大学院 9月 入学試験問題及び解答例

(採点のポイント)

①障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律等の一部を改正する法律案の可決成立（令和4年12月10日）により、東ね法案のひとつであった精神保健福祉士法も一部改正（第二条（定義））され、2024（令和6）年4月1日から施行されている。

②従来の対象に加え、「精神保健に関する課題を抱える者」の精神保健に関する相談に応じ、助言、指導、日常生活への適応のために必要な訓練その他の援助を行うこととされ、対象が広がった。

問2 次の1～12.の社会福祉学専門用語の中から4つを選んで、それぞれについて簡潔に説明しなさい。

解答用紙に選択した番号を記入すること。

1. 広汎性発達障害

社会性・コミュニケーション・行動などの発達に関して特異な状況を示す障害である。自閉症やアスペルガー症候群、レット症候群などがこの障害に区分される。言語発達の遅滞、会話のやりとりの困難性（対人関係の困難性）、興味や行動の偏り（強い固執性、常同行動）が特徴である。

2. 保護観察

非行少年（家庭裁判所で保護処分を受けた少年、少年院を仮退院した少年）や犯罪者（仮釈放された人、執行猶予付き判決を受けた人）を少年院や刑務所やなどの矯正施設に処遇するのではなく、再犯を防止しつつ社会の中で生活しながら更生を目指す社会内処遇制度。保護観察中は、保護観察官や保護司との定期的な面談が行われ、必要に応じて就労支援や生活指導も受ける。

3. 意思決定支援

（解答例）本人が自分の生活やケア、治療などについて「選ぶ・決める」ことを実現するための支援である。情報をわかりやすく整理して提供し、意思や価値観を丁寧に確認しながら、選択肢の比較や熟慮の過程を支える。判断能力にゆらぎがある場合も、本人の意思（推定意思を含む）を中心に据え、代行ではなく共同での意思形成と意思表示を促す。

4. 介護支援専門員

（解答例）介護保険制度に基づき、要介護者が適切なサービスを利用できるよう支援する専門職である。本人・家族の意向と心身の状態、生活環境を把握し、ケアプラン（居宅サービス計画）を作成する。サービス事業者や医療機関、行政などとの連絡調整（ケアマネジメント）を担い、継続的にモニタリングして計画を見直す。

5. 回復期リハビリテーション病棟

（解答例）脳血管疾患や大腿骨頸部骨折などで回復期リハビリテーションの必要性が高い患者が常時8割以上入院し、在宅復帰を目指す病棟のこと。リハビリテーションの内容としては、集中的リハによるADL回復をめざす。滞在期間は対象疾患により異なるが60日から最長180日とされている。診療報酬は原則として出来高払いで、一部包括払いとなる。

6. 福祉用具専門相談員

（解答例）介護保険法に定められた専門職で、高齢者や障害者に対し、福祉用具の選定やアドバイスなどを行う。介護保険の福祉用具貸与・販売事業所に、2名ずつ配置することが義務付けられている。社会福祉士・介護福祉士や看護師など一定の専門有資格者や、都道府県知事指定の講習会修了者から任用することとされている。

7. 地域定着支援センター

【解答例】高齢（概ね65歳以上）又は障害のために福祉的な支援を必要とする矯正施設退所予定者及び退所者等に対し、関係機関等と連携・協働しながら、入所中から退所後まで一貫した相談支援を実施することによって、その方の社会復帰及び地域での生活への定着を支援する機関である。

8. CRAFTプログラム

【解答例】米国で開発された依存症の治療を拒否している当事者の家族向けの治療プログラムで、信頼関係の修復、家族が精神的な「ゆとり」のある生活を送るためのプログラムが展開される。

2026年度 駒澤大学大学院 9月 入学試験問題及び解答例

9. 個別避難計画

【解答例】災害時に手助けが必要な方（避難行動要支援者）がスムーズに避難できるよう、事前に「どこに避難をするか」「誰が避難を手助けするか」「避難の際に配慮が必要なことはなにか」などを書いておき、支援を行う人と事前に共有を行う、一人一人の状況に合わせた避難計画で、2021年の災害対策基本法改正により市町村による策定推進が定められた（義務・努力義務ではない）。

10. 小規模住居型養育事業（ファミリーホーム）

【解答例】施設機能の地域分散化を目的として、地域の中で戸建てやマンションなどにおいて、5～6人のこどもを預かり家庭的養護を実施するもの。2008（H20）年の児童福祉法改正により「小規模住居型児童養育事業」として開始された。

11. 精神保健福祉相談員

（解答例）精神保健福祉相談員とは、精神保健福祉法に基づき、都道府県や市町村が精神保健福祉センター、保健所、市町村役場などの福祉行政機関に配置する職員である。都道府県知事または市町村長が任命する。精神障害のある方やその家族が、地域で安心して生活できるように、専門的な知識と経験に基づいて相談に応じ、必要な助言や指導、支援を行う役割を担う。

12. オープンダイアログ

（解答例）オープンダイアログ（開かれた対話）は、1980年代にフィンランドのケロプダス病院で開発された、統合失調症などの精神科治療法です。薬物治療や入院を最小限にし、本人・家族・支援者が車座になって「対話」を重ね、共感や信頼を通じて回復を促す手法で、結果として入院期間の短縮や患者の社会復帰率向上など高い効果を挙げています。

2026年度 駒澤大学大学院 9月 入学試験問題及び解答例

研究科・専攻 【 人文科学研究科 社会学専攻 修士課程 】
試験科目 【 外国語試験 英語 】

【出題意図】

社会学あるいは社会福祉学に関して、研究を遂行するにあたって求められる英語文献を読みこなせる能力を判定すること。

1. 解答は解答用紙（3枚目）に記入すること。また選択した問題番号を記入してから、解答して下さい。
2. 志望する指導教員の専門領域が、社会学か社会福祉学かで、解答する問題が異なります。
 - *社会学領域の指導教員を志望している人は、問題Aを解答しなさい。
 - *社会福祉学領域の指導教員を志望している人は、問題Bを解答しなさい。
3. 志望する専門領域と異なる解答をした場合は、採点の対象とはなりません。

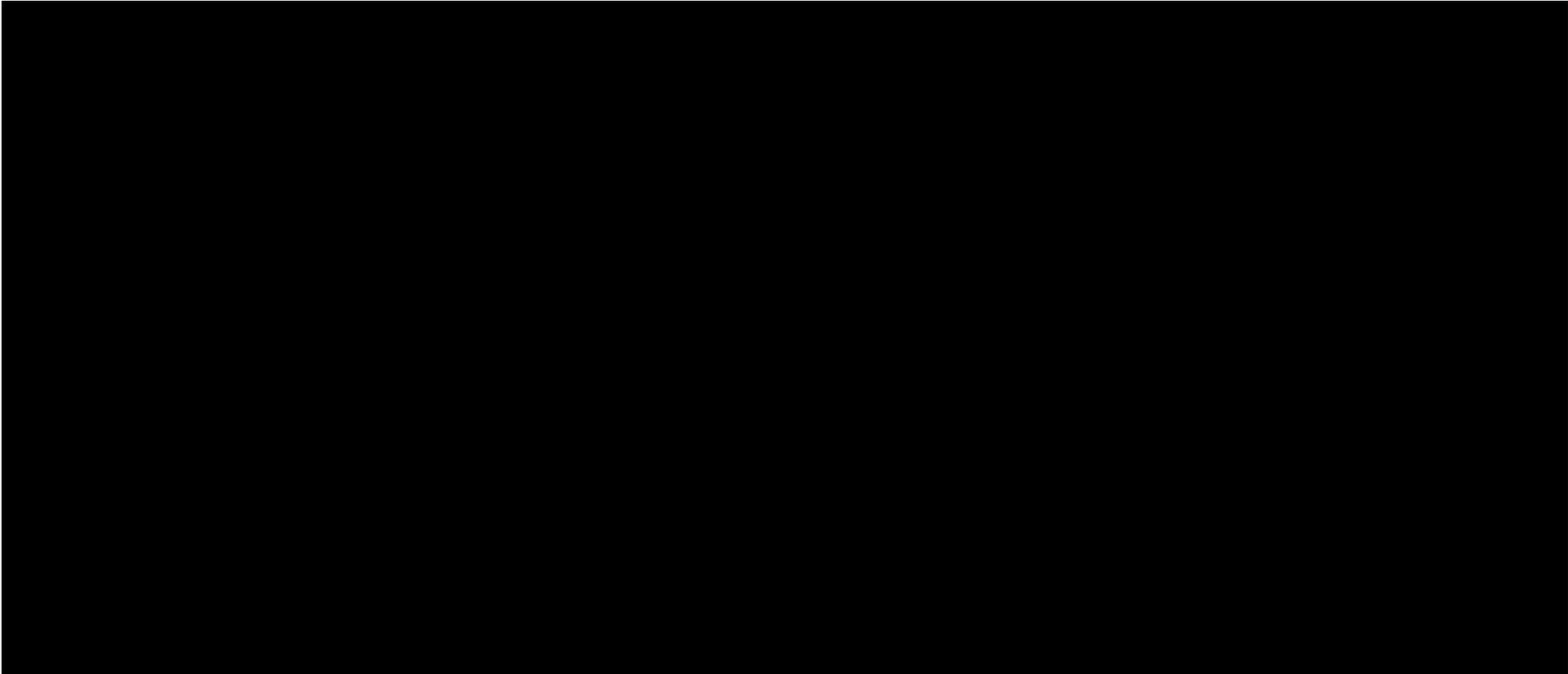
【社会学領域】

- A. 以下の英文を日本語に訳しなさい。

(出典) White, M. James, Martin, F. Todd, & Adamsons, Kari, 2019, *Family Theories (5th eds.)*, SAGE Publications: 5.

2026 年度 駒澤大学大学院 9 月 入学試験問題及び解答例

和訳解答例



2026年度 駒澤大学大学院 9月 入学試験問題及び解答例

【社会福祉学領域】

B. 以下の英文を日本語に訳しなさい。

(出典) History of Social Work(www.historyofsocialwork.org)の“1970 Paulo Freire より引用
(https://www.historyofsocialwork.org/eng/details.php?cps=23&canon_id=157)

下線注

Paulo Freire・・・ブラジル出身の教育学者。のちにハーバード大学客員教授。パウロ・フレイレの「被抑圧者の教育学」はソーシャルワークにおけるエンパワメント概念に大きな影響を与えた。

Pedagogy of the Oppressed・・・「被抑圧者の教育学」パウロ・フレイレの著書

source of inspiration・・・インスピレーションの源

deprived neighbourhoods・・・貧困地域

`banking concept`・・・銀行概念

are dehumanized・・・非人間化される

liberating (liberate)・・・解放する

dominate・・・支配する、管理する

`generative themes`・・・生成的テーマ

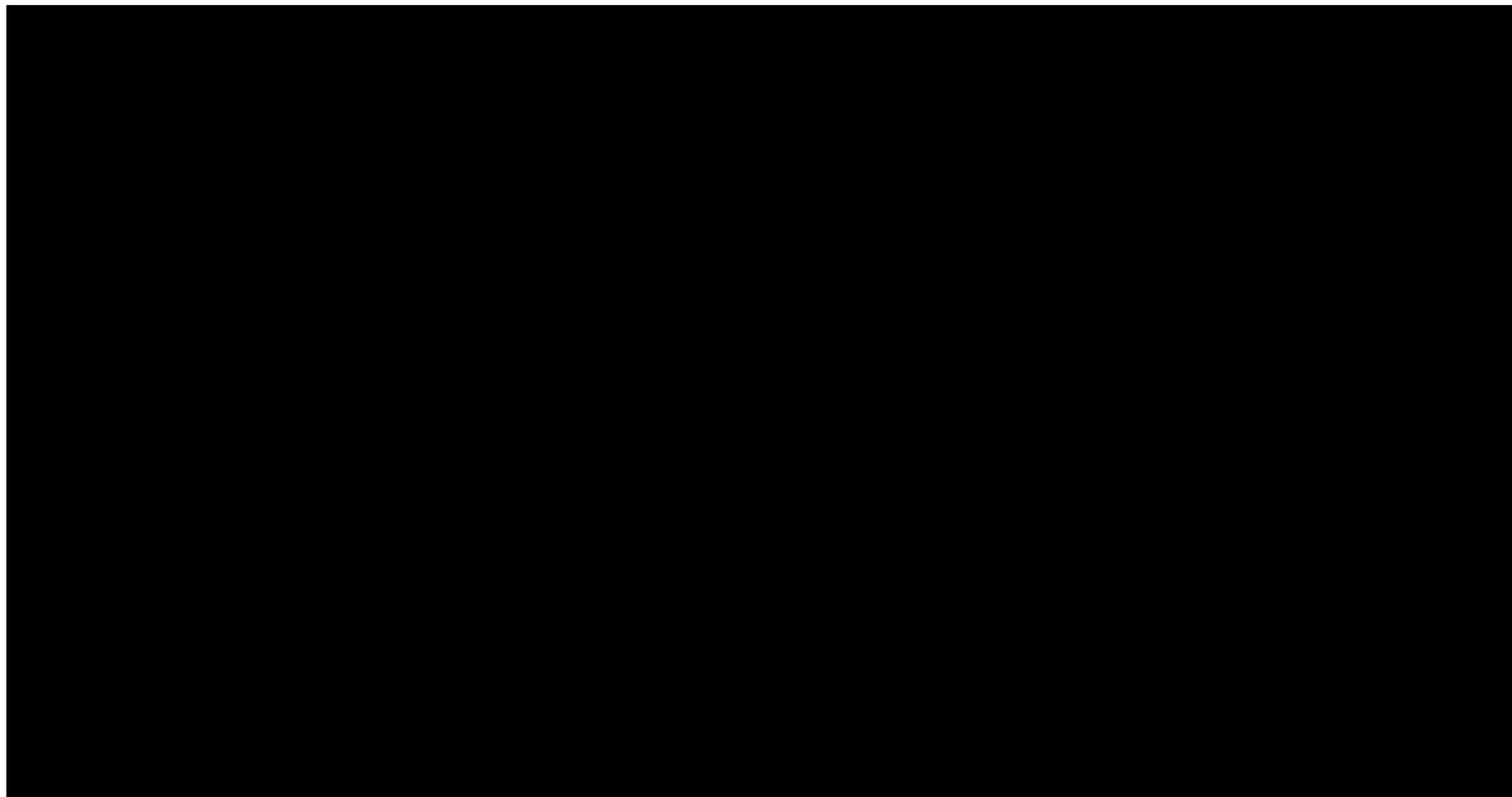
conscientization・・・意識化

examining and acting on the root causes of oppression・・・抑圧の根本原因を検証し、それに基づいて行動する

cornerstone・・・礎となる、基礎となる

2026年度 駒澤大学大学院 9月 入学試験問題及び解答例

【解答例】



2026年度 駒澤大学大学院 9月 入学試験問題及び解答例

研究科・専攻 【 人文科学研究科 社会学専攻 修士課程 】
試験科目 【 小論文（外国人留学生） 】

【出題意図】

社会学あるいは社会福祉学に関して、その主要なトピックについて深い理解があり、日本語において分析的・論理的な文章を書く能力を判定すること。

【解答上の注意】

1. 解答は解答用紙(2枚目)に記入すること。また、選択した問題番号を記入してから、解答して下さい。
2. 志望する指導教授の専門領域が、社会学と社会福祉学で、解答する問題が異なります。
*社会学領域の指導教員を志望している人は、問1を解答しなさい。
*社会福祉学領域の指導教授を志望している人は、問2を解答しなさい。
3. 志望領域と異なる領域の問を解答した場合、採点の対象とはなりません。

【社会学領域】

問 1. 後期近代における人々の行動や価値観の変化について説明した上で、こうした変化が私たちの社会にどのような影響を及ぼしているのか、社会が直面している問題や課題について論述しなさい。

解答のポイント

- ①近代社会の成り立ちと特徴、および後期近代への移行について、的確に説明されていること。
- ②具体的な事例を参照しながら、後期近代における人々の行動や価値観が説明されていること。
- ③社会学の理論と関連づけながら、後期近代における社会問題、人々の行動や価値観の変化の背景について考察されていること。

【社会福祉学領域】

問 2. 共生社会の実現に向けて国際的な取り組みがなされているユニバーサルデザインとは何か、またその原則と具体例について論述しなさい。

- ① ユニバーサルデザインの目的や沿革等が記述されていること

- ・ バリアフリーは「障害者向けに後から障壁を取り除く」考え方であるが、ユニバーサルデザインは「最初から誰でも使えるように設計する」ことを目的とする考え方であり、SDGsの理念とも深く結びついている。
- ・ 年齢・性別・国籍・障がいの有無などに関係なくすべての人が利用しやすいように設計された製品・サービス・環境のことで、ノーマライゼーションの理念を源流としている。
- ・ 1980年代にアメリカのロナルド・メイスによって提唱、1990年代には、アメリカの福祉政策のキーワードとして採用され世界的に拡大した。日本では1995年頃からこの概念が広がり、企業や公共施設でも徐々に取り入れられるようになった。

- ② ユニバーサルデザインの7原則（公平性・柔軟性・直感性・情報・安全性・少ない身体的負荷・接近性）について記述されていること

- ③ ②の原則を踏まえて、インフラや公共施設、日常生活用品等での普及例の説明がなされていること